

第9回 東日本大震災子ども支援意見交換会のご案内

一親を失った子どもなど社会的養護を必要とする子どもたちを巡って

震災によって、親を失った孤児は241人(岩手県94名、宮城県126名、福島県21名)、遺児は1,483人(岩手県487名、宮城県857名、福島県139名)(2013.3.1現在)と発表されています。

その子どもたちは災害によって、かけがえのない親を突然失い、その後の暮らしを必死に始めています。その子どもを引き取って育てているのは、ほとんどが親族の方々です。

震災後3年目を迎え、阪神淡路震災後に日本で作られた親族里親の制度を利用している人も、親族の力だけで育てている人も、子ども自身の悲しみや苦しみは、時間がたつことで一層複雑さと深刻度を増しています。そしてそれを支える親族や周辺の大人たちの悩みは、一層深くなっています。

今回は、両親を失った子どもたちや、その子を育てる親族や里親たちの現状を共有し、その子どもたちや里親を支援している人たちがどのような課題に遭遇しているのか、また遺児の子どもたちの支援や養育相談などに携わる現地からの報告を受けとめ、今後何を私たちが取り組まなければならないのか、情報・意見交換会を行いたいと思います。

ぜひ、ご参集ください。



日時：2013年8月30日(金) 11時～13時

場所：衆議院第2議員会館 第1会議室

*10時30分から10時50分までに受付においでくださるようお願いいたします。

司会進行：森田明美(東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長 東洋大学教授)
荒牧重人(東日本大震災子ども支援ネットワーク運営委員 山梨学院大学教授)

<報告>

1. 親を失った子どもたちの現状と支援に関する問題の整理

森田明美(東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長 東洋大学教授)

2. 被災地からの報告

- ・親族里親など被災地の里親子に関わって：ト蔵康行(宮城県里親連合会および日本ファミリーホーム協議会)
- ・広域に点在する親を失った子どもたちを支援する：八木俊介(あしなが育英会レインボーハウス)
- ・地域で暮らす親を失った子どもたちや被災した子どもたちと家庭を支援する：船野克好(児童家庭支援センター大洋)

3 政府による保護者を失った子どもへの支援

報告：厚生労働省(予定)

コメント：文部科学省、内閣府、復興庁(予定)

4 震災子ども支援について国会議員からの発言

<討議>

<主催> 東日本大震災子ども支援ネットワーク

事務局：東洋大学白山校舎2号館608号 森田明美研究室

TEL・FAX 03-3945-7481 E-mail : info@shinsai-kodomoshien.net

